

### 第3回千葉県資源評価検討会議 会議録

- 1 開催日時 平成27年10月14日(水) 午前10時30分～午後2時30分
- 2 開催場所 千葉県庁本庁舎16階 農林水産部会議室
- 3 出席者 13名(うち構成員3名) ※別紙出席者名簿参照
- 4 検討事項

- (1) 千葉県資源評価票(案)について
- (2) 資源管理計画の評価検証結果について
- (3) その他

#### 5 検討事項の概要及び検討の結果

第3回の会議では千葉県資源評価票(案)についての検討及び、資源管理計画の評価検証結果についての助言について協議を行った。

##### (1) 千葉県資源評価票(案)について

千葉県水産総合研究センター(以下、「水総研」とする。)の担当者から資源評価の項目及び資源評価対象魚種毎に資源評価票(案)の説明が行われた。構成員及び出席者からの意見等は以下のとおり。

##### ①資源評価の評価指標ほかについて

- ・資源評価票全体としては当初のものとして非常に良い出来である。資源水準と動向の判断についても現状では適当であると考えられる。(構成員)
- ・資源評価票に資源評価基準の評価項目にある管理方策の記載が無い理由は?(事務局)
- ・現時点で提案できるだけの情報が不足していることと、純粹に資源評価のみとすることが適当と判断したため。(構成員)
- ・資源評価を示す上では案のもので問題無いと思われる。管理方策については、提案できるだけの情報が整ってからが良いと考えられる。(構成員)
- ・管理方策については、これまでの資源評価検討会議の検討の中で記載することを決めた経緯もあることから、今後、提案できる状況になった際には記載していくこととしたい。(議長)

##### ②キンメダイの資源評価について

- ・今回の千葉県の資源評価と国の評価で相違点はあるか?(構成員)

- ・国の評価では一都三県（東京都、千葉県、神奈川県及び静岡県）を対象としており、資源水準は低位、動向は減少となっている。（水総研）
- ・評価期間はどのように設定したか？（構成員）
- ・東京湾口については1995年以前のデータに伊豆諸島海域のデータが含まれるため、除外し、他海域もそれに合わせた。（水総研）
- ・そういった理由について記載した方がわかりやすい。（構成員）

#### ③マダイの資源評価について

- ・放流尾数のデータ期間について記載した方が良い。また、資源管理の取組みに種苗放流を記載した方が良い。（構成員）

#### ④ヒラメの資源評価について

- ・ヒラメについてもマダイ同様に放流尾数のデータ期間を記載した方が良い。（構成員）

#### ⑤マコガレイの資源評価について

- ・資源動向の判断で計算上7%増加となっているが、直近3年間は減少しているので、その旨、記載するとより丁寧である。（構成員）
- ・生態情報に記載されている放流尾数については、年毎に放流数変動するので具体的な尾数の記載は不要である。（議長）
- ・種苗放流を行っているため、他魚種同様に資源管理の取組み欄にその旨記載した方が良い。（事務局）

#### ⑥クロアワビの資源評価について

- ・漁獲量において長期的には低位であるが、資源評価の判断では最近23年間の中で資源水準を判断していることは適当と考えられる。漁業にとっては操業形態や人数が異なる50年前と比べるよりも今の状況の中での資源状況の判断が重要である。（構成員）
- ・内部でもその点議論したが、過去の時代と比較するのは適当でないと判断した。（構成員）

#### ⑦メガイアワビの資源評価について

- ・メガイアワビについても輪番制を行っているのか？（構成員）
- ・計画を立てて実施しているようではないようだ。（水総研）
- ・そうであれば輪番制に係る記載は削除した方が良い。（構成員）

⑧イセエビの資源評価について

- ・特に意見等は無かった。

⑨サザエの資源評価について

- ・資源動向について、11%の減少とのことだが、傾きとグラフの形の隔たりが大きい。再計算して確認した方が良い。(構成員)
- ・再確認した上で判断したい。(水総研)
- ・内房でサザエを長年にわたって放流しているがどのように評価したら良いか？なお、放流サイズは漁獲制限殻高より小さく、放流後1年間は産卵させた上で漁獲可能サイズまで大きくして漁獲しているようだ。(水総研)
- ・来年度への宿題となるが、まずは放流数の記載を検討していくと良い。(構成員)

⑩チョウセンハマグリの資源評価について

- ・漁場について九十九里と鴨川は離れているが、どう扱っていくのか？(水産課)
- ・まずは全体として評価していく。(水総研)
- ・稚貝発生のデータは資源評価に使っているのか？(水産事務所)
- ・補足情報なので、資源評価の判断には入らない。(水総研)

(2) 資源管理計画の評価検証結果について

事務局から資源管理計画の評価検証の方法、現時点での結果の状況及び国の評価検証事例等の説明を行った。構成員及び出席者からの意見等は以下のとおり。

- ・この評価検証の問題点として、漁業者による自己点検結果や資源評価で悪い結果となった場合に、どの程度記載していくか整理する必要がある。また、自己点検は各漁協単位で行われているが、各地先の評価結果と県全体の評価結果が異なった際にどう評価していくのか難しい側面がある。(構成員)
- ・個々に評価検証した場合に、同じ海域で操業しているのに漁協間で結果に食い違いが出ると、同じ資源を対象にしているのに対応が違うという問題が出る。そこで今回は地域の資源管理の取組みや操業海域、資源評価の対象等を考慮してまとめて評価検証しているものもある。もし、今回の結果等から適切に資源管理計画の効果を判断するのに、個々に評価していく必要があれば、次回以降はそれも検討していきたいと考えている。(事務局)
- ・趣旨からすると最も重要なのは漁業者の自己点検結果ではないか？漁業者が自分達で

色々取り組んできて自ら評価したことと、それをこちらがデータから評価したことの違いを明確にすることが大事である。(構成員)

- ・漁業種類の計画の評価検証について、複数魚種を対象にしている場合がほとんどだが、漁業種類の漁獲量やC P U Eで資源管理計画の効果を見ることはできるのか？対象魚種によって資源水準や動向も違うので、主な対象魚種に着目した方が良いのか？(事務局)
- ・個々の魚種への効果を見るというより計画に対しての検証なので、漁業種類全体の漁獲量やC P U Eを示した上で、増えていけば資源が増えている、減っていれば資源は減っていると判断しても問題無いと思われる。もし、乱獲状態であれば全体の資源も減っていくので、漁業種類そのものの漁獲量でも評価できると考えられる。(構成員)
- ・今回は自己点検結果と各データの比較さえ行えば十分であると思われる。高度化の部分については結果として現状維持という結果がほとんどなので、今の取組みを継続することが適当であると思われ、現実的に見直しできる取組みは放流以外では考えにくいと考えられる。(構成員)
- ・計画の評価検証結果については、本日いただいた助言等を参考に事務局で必要な修正を行った上で、資源管理協議会に諮ることとしたい。(議長)

### (3) その他

事務局から今後のスケジュールを説明し、意見等は特に無かった。

第3回千葉県資源評価検討会議出席者名簿

| 所 属                       | 役 職               | 氏 名   | 備 考         |
|---------------------------|-------------------|-------|-------------|
| 千葉県農林水産部水産局<br>漁業資源課      | 課 長               | 佐藤 喜雄 | 構成員<br>(議長) |
| 千葉県水産総合研究センター             | 次 長<br>資源研究室長事務取扱 | 鈴木 広之 | 構成員         |
| 東北大学大学院農学研究科              | 教 授               | 片山 知史 | 構成員         |
| 千葉県農林水産部水産局<br>水産課        | 主 幹               | 岩崎 晶知 |             |
| 銚子水産事務所改良普及課              | 課 長               | 宮里 幸司 |             |
| 勝浦水産事務所改良普及課              | 課 長               | 藤元 香世 |             |
| 館山水産事務所改良普及課              | 課 長               | 高山 敬介 |             |
| 千葉県水産総合研究センター<br>資源研究室    | 主席研究員             | 石井 光廣 |             |
|                           | 上席研究員             | 加藤 正人 |             |
|                           | 研 究 員             | 中丸 徹  |             |
|                           | 研 究 員             | 中川 雄太 |             |
| 千葉県農林水産部水産局<br>漁業資源課資源管理班 | 班 長               | 永野 歩  | 事務局         |
|                           | 副 主 査             | 鈴木 克彰 | 事務局         |